

担当教員：寺地幹人

### 1. 実施日時、場所

2022 年 10 月 5 日～7 日、大子町営研修センター（茨城県久慈郡大子町大字北田気 662）

### 2. 参加者

社会意識論ゼミナール 3 年生 6 名、4 年生 9 名、担当教員 1 名

### 3. 目的、内容、成果

当ゼミナールでは、4 年生の卒業研究および 3 年生の個人研究について集中的に検討する機会を設けることを主たる目的とし、2022 年 10 月 5 日～7 日に合宿を実施した。

初日は他の授業を履修している学生が数名いたため、空き時間に大学の教室で卒業研究進捗報告（前半）を行い、夕方に合宿場所まで移動した。夕食後、前期のゼミ活動を振り返りつつ、後期のゼミ活動の方法について検討した。

2 日目は午前中に卒業研究進捗報告（後半）を行った。そのうえで、2 週間後に控えた卒業研究中間報告会を意識し、4 年生全員が留意すべきポイントを全体で検討しつつ整理した。正午頃から、大学がある茨城県の観光地の様子を実地で理解することを目的の一つとし、袋田の滝を訪れた。この場所について授業等で知ったものの、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、これまで実際に足を運ぶことができなかった学生も複数人いたので、今回の訪問が大学のある地域の観光資源を理解する一助となった。午後は、ワールドカフェの手順を意識した方法で 3 年生の個人研究を検討したうえで、11 月上旬に予定されているゼミ内中間論文の提出に向けた留意点を全体で確認した。夕食後、合宿全体の振り返りと今後のゼミ活動に向けたポイントを確認した。

通常の授業時間では議論を途中で中断し次回にもちこしにせざるを得ないことも少なくないが、今回のように寝食をともにして納得がいくまで長時間継続的に議論をすることで、研究を大幅にブラッシュアップできた。加えて、妥協したまとめをせずに思考し続けることの重要性を体験的に学んだことも、本合宿の成果と言える。

